

令和8年度

音楽部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	長浜 (合唱)	鈴木 (和太鼓)		週3日
副顧問	和久田 (合唱)			
副顧問	泉 (合唱)			
副顧問	谷 (合唱)			
主顧問	下畝地 (和太鼓)			
副顧問	久保田 (和太鼓)			
副顧問	平田 (和太鼓)			
副顧問	小森 (和太鼓)			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
 - ・生涯にわたる余暇活動の基礎を身につけようと意欲的に活動する生徒。
 - ・よりよい自分の実現へと具体的な目標を意識し、協力し合う生徒。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
 - ・学園祭や3年生を送る会でよりレベルを上げた演奏を実現させ、自信につなげる。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
 - ・練習は、指導者の会議日程等を考慮し、週に2～3回を原則とする。練習時間は平日1時間から1時間30分程度、生徒の実態に合わせた内容を考え、自主的かつ意欲的に活動できるように工夫する。
 - ・合唱部門の練習を原則月・金、和太鼓部門の練習を原則月・木に行う。
- (2) 練習や試合等の計画
 - ・「新入生歓迎会」「学園祭」「3年生を送る会」に参加する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
 - ・安全意識の向上とそれに伴う身体動作の指導、時間の自主的管理を促す指導を行う。
 - ・学年を追うごとに、自信と責任感を育む。
- (4) 生徒相互の人間関係
 - ・礼儀などに則った行動を励行し、活動の節目において振り返りを促す。
 - ・合唱部門は部長、副部長の他に、必要に応じて広報やパートリーダー等を決め、一人一人が自主的に部活動に参加できるように支援する。
- (5) 学習と部活動
 - ・学習と部活動の両立を図るために、練習計画に沿って活動するとともに、保護

者と連携をとりながら指導する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問と外部指導員で共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

- ・顧問と外部指導員のそれぞれの役割について話し合い、共通理解を図った上で指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

- ・生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容	
前期	4	合唱部門	和太鼓部門
	5	・仮入部期間・係決め、曲決め ・練習（発声、ポップス歌唱練習）	・仮入部期間
	6		
	7	夏季休業中 部活動推進週間 ① ・練習（発声、ポップス歌唱練習、 合唱パート練習・合わせ練習）	・夏季休業中 部活動推進週間
	8	部活動推進週間 ② ・練習（発声、ポップス歌唱練習、 合唱パート練習・合わせ練習）	
	9	・選曲（学園祭で歌う曲について）	
後期	10	1 2月の学園祭の舞台発表に向けて練習を行う。 （発声、パート練習、合わせ練習）	
	11		
	12	・学園祭にて舞台発表	・学園祭にて舞台発表
	1	・「3年生を送る会」に向けて練習を行う。	
	2		
	3	・合唱部内での「3年生お別れ会」	・「3年生を送る会」舞台発表